

The Door Step to Japan

日本の扉

浅草

浅草・槐の会

ASAUSA

2014年
夏
号



平成二十六年甲午		平成二十七年乙未	
七月 (文月)	九、十日 四万六千日 <small>(ほおずき祭市)</small> 二十六日 隅田山花火大会	一月 (睦月)	初詣 浅草名所七福神もろて
八月 (葉月)	五日 台東薪能 十五日 万霊燈籠供養会 二十三日 浅草サンバカーニバル	二月 (如月)	三日 節分の日 八日 針供養
九月 (長月)	二十三日 彼岸会	三月 (弥生)	十八日 浅草観音示現会・金龍の舞
十月 (神無月)	十月十六、十七、十八日 浅草菊花展 十八日 金龍の舞・菊供養	四月 (卯月)	八日 釈尊誕生日 <small>(花まつり)</small> 十三日 白鷺の舞 十九日 浅草流鏑馬 二十三日 早慶レカッタ
十一月 (霜月)	三日 東京時代まつり・白鷺の舞 十一、二十二日 西の市 十五日 七五三	五月 (皐月)	五日 宝の舞 十六、十八日 三社祭 三十一日 お富士様の植木市
十二月 (師走)	十七、十九日 歳の市 <small>(羽子板市)</small> 三十一日 除夜の鐘 <small>(弁天山)</small>	六月 (永無月)	一、二十八、二十九日 お富士様の植木市

仲見世をゆく 本社神輿

一ノ宮(二〇〇九年)



二ノ宮(二〇〇六年)



三ノ宮(二〇二年)



浅草発・下町の歩き方

その16 西浅草で墓マイラー

近年、著名人のお墓めぐりを趣味にする人が増えています。そんな人々を表す言葉が「墓マイラー」。浅草寺を中心に寺町を形成する西浅草も、もちろん著名人のお墓の宝庫。浅草から上野にかけてお寺をめぐり、歴史上の人物たちに思いを馳せてみてはいかがでしょうか？

① 法善寺 東上野6-17-3

齋藤長秋・荻齋・丹老

江戸のガイドブックとして大ベストセラーになった「江戸名所図会」を祖父、父、息子の三代かけて完成させた。全7巻20集、完成までに約40年を要した大作。幕末から明治時代を生きた月亭(1804~1878)は神田6か町の町名主で、町民を管理するとともに、町民の代表として意見を陳情する立場にもあった。



② 源空寺 東上野6-19-2

谷文晁

1763~1840。江戸文人画家の重鎮で上方の円山応挙、狩野探幽とともに「徳川時代の三大家」に数えられる。文人画=南画とは中国の南宗画に由来する。職業画家の画に対し、文人が余技として描いた独特の味わいがある絵画のことをいう。文晁は和歌や漢詩もよくし、今の台東区根岸に暮らした。

伊能忠敬

1745~1818。ご存じ、日本全国の海岸測量を行なった人物。忠敬の作った地図が明治中頃までは日本地図の基本とされていた。彼には商人としての意外な経歴があり、18歳の時に香取市佐原の伊能家に婿養子入り。酒、醤油の醸造、貸金業、利根水運などで才覚を発揮。財産を築いた後に、51歳で家督を長男に譲り、自身の好きな道に進んだのだ。



高橋素岡

1768~1804。幕府の天文学者。伊能忠敬が51歳で入門した暦学の大家で、西洋暦法や測量術を教えた。忠敬より23歳若い師匠だった。息子の景保(1785~1829)はシーボルトの「世界周航記」と忠敬の「日本地図」などを交換したことが幕府にわかり、捕らえられて獄死した。景保も東岡の並びに眠っている。



楠備院長兵衛

1622~1657。歌舞伎などで有名な侠客。武家を出で殺人で死罪となるところを下谷幡随院住職に救われて、花川戸で侠客となった。江戸時代初期、旗本の不平分子達が町人達に乱暴狼藉を働くようになった。町人側の頭となって闘った長兵衛は、旗本の騙し討ちに合せて波乱の人生を閉じたが、「男の中の男」として崇められた。

③ 曹源寺 松が谷3-7-2

合羽屋喜八

かつば川太郎の愛称で知られる人物。合羽橋付近は水揚げが悪く、文化年間(1804~17年)に合羽屋喜八が私財を投じて新堀を開削した。その折りに隅田川のかつばが大挙して工事を手伝ったといわれる。墓石には「てっぺんに手向けの水や川太郎」と、かつばの皿にちなんだ川柳が刻まれている。曹源寺は通称かつば寺と呼ばれる。



賽銭箱の上にはカッパの好物のきゅうりが。

三二情報

筆者の専門は風景印という、郵便局に配備されている名所図案入りの消印。台東松が谷局は合羽橋にちなむカッパのマスコット図案。伊豆長八のこて絵は足立局、玉川兄弟の碑は遙か羽村局の題材になっている。



④ 聖徳寺 松が谷2-3-3

玉川庄右衛門・清右衛門

玉川上水を開削した兄弟。1653年、四代將軍家綱の時、江戸の水道が神田上水だけでは賄いきれなくなり、多摩川からの引水計画が立てられた。上水的设计者・玉川庄右衛門、清右衛門兄弟が工事を担当、羽村から四谷大木戸まで43kmが掘り割られ、江戸市中へ送られた。幕府は兄弟の労をねぎらって玉川の姓を贈り、上水にもその名を付けた。



三二情報

かつて松が谷1-4に東岳寺という寺が存在したが、1961年、区の施設建設に伴い、足立区伊興本町に移転。この寺には歌川広重の墓があったため、移転しなければ、葛飾北斎とともに二大浮世絵師の墓所を数分て梯子で登る浮世絵ファンに聖地になっていたはず…。



⑤ 正定寺 松が谷2-1-2

織田虎次郎

1814~1852。江戸後期の三剣士の一人。元浅草4丁目付近に島田道場を持ち、勝海舟を16歳の時に預かった。稽古は気絶するまで行なう激しいものだったという。学識にも優れ、海舟の目を国外へと向けさせた。海舟は幕末に咸臨丸で渡米した他、西郷隆盛と会談し、江戸城を無血開城に導いた。



入江長八

1815~1889。左官の技術を芸術に高めたこて絵の名工。伊豆の松崎に生まれ、15歳で江戸に出て左官棟梁の源太郎の弟子となる。修行の傍ら狩野派の画法を学んだ。漆喰の上にてこて絵を描くこて絵の名人で、伊豆や東京に作品を残している。明治になり名字を許されると入江を名乗った。



⑥ 誓教寺 元浅草4-6-9

葛飾北斎

1760~1849。「富嶽三十六景」などで知られる浮世絵の大家。19歳の時に勝川春章の門に入り、狩野派、土佐派、琳派、西洋画などを学び、独自の画境を開いた。90年の生涯の末、今の浅草6丁目、遍照院の長屋で亡くなった。墓碑の正面には「画狂老人(北斎)と書かれ「悲と魂でゆく気散しや夏の原 行年九十」の句が刻まれている。



祠には誰が供えたのか 絵筆もぶら下げられている。

あの店この顔

喫茶クラウン

森田 徹さん

もりた・とおる



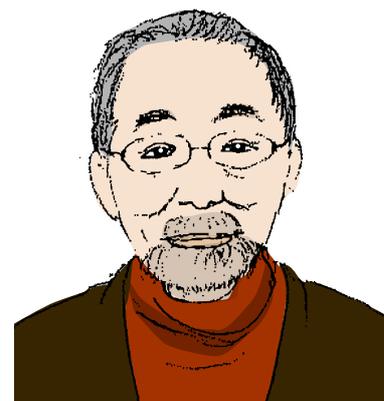
昭和36年創業の喫茶クラウンは、店構えも味のある昭和なたたずまい。二代目の徹さん、子供の頃は忙しい両親を見て継ぎたくないと思っていたようですが、10年間のデパート勤務を経て転職。ご自身が生まれた場所で、生まれた年に開業した店だけに、いつかは継ぐ運命だったのかも？「洋菓子店に勤めていたので、リボン掛けが大得意」と笑うイケメンマスターに癒されたい方は、ぜひクラウンへ！

お店の紹介はP.20

グリーンジャケット

大島 治さん

おおしま・おさむ



ゴルフ用品の品質に定評があるグリーンジャケット。店主の大島治さんは、自ら社会人選手権等のアマチュアゴルフで活躍、クラシッククラブのコレクターとしても名を馳せ、24年前にゴルフショップを開業しました。「お客様の立場に立ち、ゴルファー1人1人に合う用品を届けたい」という誠実な人柄。「趣味はゴルフのみ。50年間、ゴルフ一筋です!」との言葉にゴルフへの深い愛情が滲んでいます。

お店の紹介はP.29

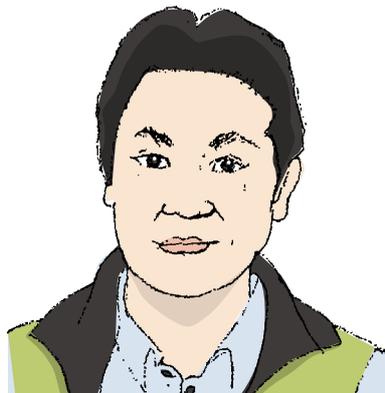
村石電気工事

村石 靖之さん

むらいし・やすゆき



村石電気工事は、ビルや展示場の電気工事が業務。三社祭や浅草サンバ祭り、年末の提灯取り付けなども請け負っており、浅草を明るく照らしてくれる縁の下の力持ちです。二代目の靖之さんは、元は野球選手を目指していたスポーツマンで「現在はもらったゴルフのシミュレーターで、自宅に居ながら世界中のゴルフ場を回るのはにまっています」。イタリアン料理も得意な、多才な職人さんです。



お店の紹介はP.24

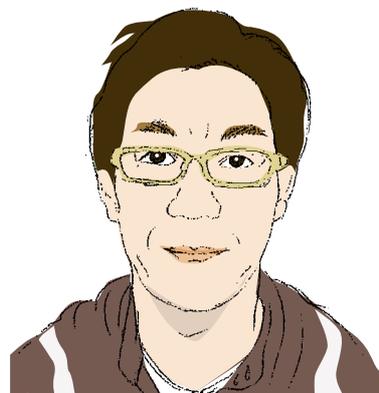
ミドリ屋

八幡 滋さん

やはた・しげる



昭和27年に創業し、舞踊衣装や和装小物を扱って60年以上のミドリ屋。三代目の八幡滋さんは、幼少期は小岩に住んでいたため、浅草に対する思い入れも低かったようですが、平成7年に家業を継ぎ、青年部の部長を務めたりするうちに、浅草にすっかり根を張りました。「マイブームは人間観察」と話す滋さん、メガネの奥の鋭い観察眼でお客様に最も合う衣装や小物をお薦めしているに違いありません。



お店の紹介はP.26



ようやく春が来たと思ったら、もう間もなく初夏です。浅草で初夏の訪れを告げるものといえば三社祭、そして旬を迎えるどじょう。呑み助のご隠居も、もちろんこのどじょうが大好物のようです。

主な生息地は千束の田んぼの中

ちょっとアンタ、人を勝手に呑み助と決めつけないでくれ。ま、あながち間違いとは言えないのがつらいとこだけだネ。

浅草には飯田屋さんと駒形どぜうさんと2つのどじょうの名店がある。駒形さんは享和元(1801)年、飯田屋さんは明治35年(1902)頃創業の老舗。「どぜう」って書くのは、駒形さんが看板を作る時、画数が良いってんで使ったのが他の店にも広まったんだ。ところで浅草にどじょう屋が多いからって、隅田川で獲れてたと思ってないかい？ 江戸時代にはお西様(鷲神社)の裏手の千束をはじめ、根岸から浅草の間にけこう田んぼがあって、そこで獲れてたのが本当さ。

昔の川柳を読むと、家でもどじょうを調理していたらしい。どじょう汁は生きた

第二四回

●江戸時代の庶民が愛した味 初夏から夏はどじょう料理の旬

まんま熱い鍋に放り込むが、何しろ生命力が強いから、ニョロニョロ大暴れ。「どじょうをばおまへこそせと女房いひ」、気味悪かった女房はダンナ任せ。けれど「どじょう汁内儀食ったら忘れ得ず」、調理はさせといて食うのは病みつきなんだから、男は女房には敵わねえな。

さて、かつば橋にある飯田屋さんは、みそ汁で飯を食わせる一膳飯屋から始まった。中でもどじょう汁が評判になって、そこからどじょう鍋、柳川鍋へと広がっていったんだ。上野の寛永寺と浅草寺をつなぐメインストリートにあった立地も良かったんだろうね。震災も戦災も乗り越えて、昭和20~40年代、浅草が興行街として最も栄えた時代には、美空ひばりやエノケンをはじめ、多くの芸能人が店を訪れた。だけど飯田屋さんの座敷は誰でも分け隔てのない入れ込み式で、有名人でも特別扱いは一切無し。そんな喧騒に紛れて、名も無いお客として飲み食いできるのが、そういった人たちにも心地好かったのかもしれないね。



平成8年以前の旧店舗



あの荷風先生もお気に入り

中でも鼻頂にしていたのが、作家の永井荷風先生。六区の踊り子さんたちの楽屋に通いがてら、ちよくちよく寄っては柳川鍋を頼んでいたらしい。当時、店にはくにさんという名物女中が居て、お偉い作家とも思わずに「好き者の先生」的な扱いをして、先生もお気に入りだったんだ。四代目ご亭主の飯田龍生さんは昭和26年6月22日の生まれだが、先生の日記『断腸亭日乗』には、23日に店に来たと書いてあるんだとか。「先代とも親しくしていたので、たぶん『昨日、息子が生まれました』という報告はしたと思うんだけど、残念ながらそのことは触れられていないんですよ」と龍生さん。でも22日の日記には「驟雨」と記録があり、龍が生まれた時と同じ大雨だったことから龍生さんって名前になったんだから、ちゃんとながつながってるんだね。写真が大嫌いだった先生が、いい表情でお店の人たちと収まっているのが微笑ましいじゃないか。店の帳場には改装した今でも、荷風先生が好んでもたれかかった丸柱が残されていて、一見の価値ありだよ。

そんな庶民の食べ物だったどじょうもすっかり

獲れる量が減って、あちこちにあったどじょう屋も今や都内で四軒しか残っていない。飯田屋さんも天然ものの仕入れなどに苦労が絶えないようだが、庶民的な値段で食べさせてくれるのが嬉しいね。カルシウムは日本の食用魚の中では一番豊富だというし、「どじょう一匹=ウナギ一匹」と言われるほど栄養価が高いから、夏負けしないためにはうってつけの食材だ。

旬を迎える5~8月、メスのどじょうは卵を抱えてる。これはこの時期だけだから、一度食べてごらんよ、旨いもんだよ。それから飯田屋さんでは例年、三社祭の初日に店の衣替えをする。のれんが紺地のものから爽やかな白地に替わり、それでお神輿をお迎えしようって寸法だ。障子もよし張りにかわって、まさに夏到来だね。畳より目の粗い籐敷の座敷にあぐらをかいて、甘辛いどじょう鍋を着に日本酒で一杯やっていると、江戸時代の町衆もこんな感じだったのかな…って、いい気持ちになってくるのさ。



昭和33年元旦。荷風先生と龍生さんの祖父母・父母・叔母・女中頭くにさん(右端)



昭和33年元旦。荷風先生の隣の子供が龍生さんです。

浅草を彩る3月~8月の代表的催事

5月

皋月

「びんざさら舞」

● 5月16日

浅草付近の宮戸川で示現された観音像は、現在の駒形橋付近から陸にあがられ、槐の木（切り株）の上に安置されました。そのおりに、草庵（藜堂（あかざどう））を作った十人の千束田圃の百姓衆が、草庵の完成を祝って踊ったのが「びんざさら」の始まりといわれています。三社祭奉納の「びんざさら舞」は、田楽舞（ささら舞）と獅子舞の二つの舞が備わっている全国でもめずらしいものです。



三社祭

● 5月16~18日

浅草神社は、浅草寺観音像を浅草付近（宮戸川）から網得した漁師、檜前浜成（ひのくまはまなり）、竹成（たけなり）と、土地の識者、土師中知（はじのなかとも）の三人を祀るところから、古くは三社権現と称されていました。三社祭の名はここからきています。三社祭は神輿渡御が有名で、浅草神社の氏子町会四十四ヶ町の神輿勢揃いが土曜日の午後1時に浅草寺境内で行われ、浅草が祭り一色に染まります。



5月 三社祭
写真協力：
台東区写真連盟
青山真平氏

6月

水無月

お富士様の植木市

● 5月31日、6月1日、28日・29日

浅間神社（俗にお富士様）の縁日で、元禄の頃に富士山信仰から始まったものです。当初は、6月1日の山開きに合わせて5月晦日・6月1日の両日でしたが、明治以降山開きが7月1日になったことから6月晦日と7月1日も合わせた四日間のご縁日となり、近年になって5月と6月の最終土・日曜日に行われるようになりました。柳通りと神社を中心に約350軒の植木屋と200軒の売店が出ますが、この界隈は花柳界と呼ばれる地域で浴衣姿の家族づれにまじって粋な芸者衆の姿を見かけることもあります。



7月

文月

四万六千日《ほおづき市》

● 7月9・10日

下町の風物詩、夏の草市（植木市、朝顔市、ほおづき市）の一つで、この日に浅草寺にお参りすると特にご利益があるといわれる功德日でもあることから、境内は正月、三社祭に次ぐ人手となります。



隅田川花火大会

● 7月26日

享保年間に始まり、両国の川開きとして250年の伝統を保ってきた花火大会ですが、交通その他の事情により昭和36年を最後に中断しました。それが昭和53年に隅田川花火大会として復活。現在の会場は今戸付近と駒形橋-厩橋間との2会場での夏を彩る浅草の風物詩となっています。



7月 隅田川花火大会



4月 早慶レガッタ
写真協力：
台東区写真連盟
田村和夫氏

8月

葉月

台東新能

● 8月5日

新能は室町時代中期に奈良興福寺の神事「新猿楽」から始まり、能楽の太祖観阿弥によって観賞用の新能となりました。明治維新時に能は崩壊しましたが、現在の能の先鞭をつけたのは浅草蔵前の舞台での能演で、その縁の地である浅草で昭和55年より台東新能が行われています。

万霊灯籠供養会

● 8月15日

8月15日の「終戦記念日」に営まれるこの法会は、太平洋戦争で亡くなった戦災者供養のため行われ、現在は幅広くお盆の先祖供養のためにも営まれています。本堂内での法要後、本堂裏の境内地をかがり火で結界し、不動尊のご真言を唱える中、灯籠をお焚き上げします。

浅草サンバカーニバル

● 8月23日

本場のブラジル・リオから、その年の優勝チームを招待して熱狂の夜を過ごすのが、真夏の夜の夢、浅草サンバカーニバルです。お祭り好きで浅草を愛しリオ通であった故・伴淳三郎さんと前台東区長内山栄一氏が意気投合して企画したものです。浅草商店連合会の有志を中心に昭和56年8月29日に第1回浅草サンバカーニバルを成功させました。以後、毎年8月の最終土曜日に開催され、浅草の新しい息吹を示す祭典として定着しています。



8月 浅草サンバカーニバル

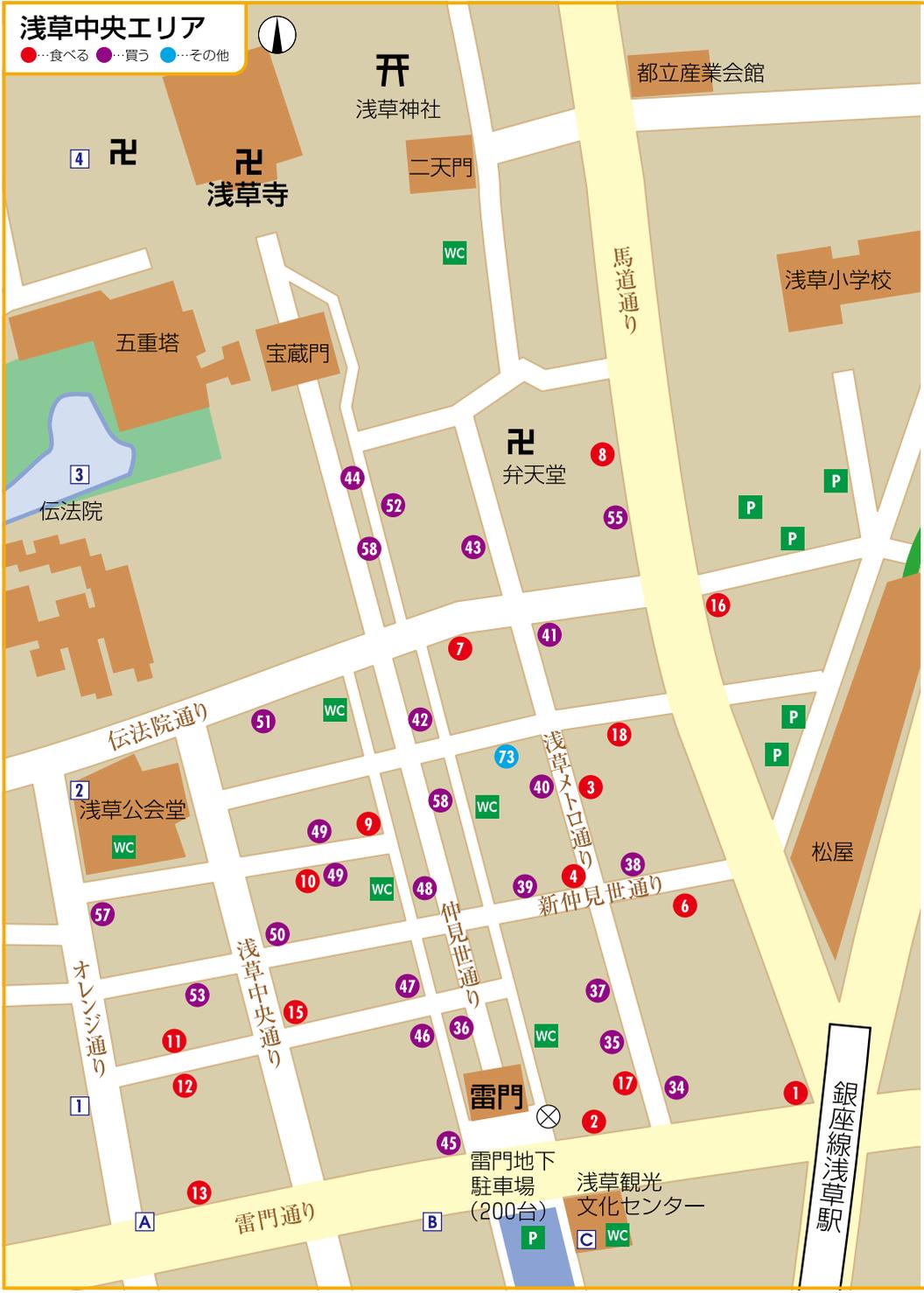
【そのほかの行事】

- ◆ 3月20日~4月13日 隅田公園「桜まつり」
- ◆ 4月13日 早慶レガッタ
- ◆ 7月1日 浅草富士浅間神社「例大祭」(山開き)



浅草寺境内石碑ガイド 浅草寺境内の主だった句碑・顕彰碑

- 1 川口松太郎の句碑**
「生きるということは、むずかしき、夜寒かな」と刻む。
- 2 久保田万太郎の句碑**
「竹馬やいろはにほへとちりぢりに」と刻む。
- 3 市川猿翁の句碑**
「まだ身にそはず衣がえ」という三代目市川猿助の句を刻む。
- 4 河竹黙阿弥顕彰碑**
歌舞伎狂言作者・河竹黙阿弥を顕彰して、台東区が建立した。
- 5 中村吉右衛門の句碑**
「女房も同じ氏子や除夜詣」と刻む。
- 6 並木五瓶の句碑**
「月花のたわみころや雪の竹」と刻む。
- 7 山東京伝机塚の碑**
江戸時代後期の戯作者・山東京伝の愛用した文机が埋められた上に建てられたとされる碑。
- 8 釘供養碑**
- 9 団十郎「暫」の像**
九代目市川団十郎の歌舞伎十八番「暫」の像。
- 10 映画弁士塚**
無声映画時代の名弁士たちを記念して建立。
- 11 半七塚の碑**
捕り物小説の生みの親である岡本綺堂を記念して建立。
- 12 三匠の句碑**
宗因・芭蕉・其角という三人の佳句を刻む。
- 13 正岡子規句碑**
「観音で雨に逢いけり花盛」と刻む。
- 14 芭蕉像と句碑**
「くわんをんのいらか見やりつ花の雲」の句を上部に、下部に松尾芭蕉の座像を刻む。
- 15 旧五重塔跡碑**



- ### 中央部会員店
- 1 神谷バー
 - 2 雷門 三定
 - 3 もんじゃ こばやし
 - 4 浅草うまいもん あづま
 - 6 かと里
 - 7 名代ら一めん 与ろみ屋
 - 8 浅草 鯨よしだ
 - 9 釜めし 麻鳥
 - 10 炭火会席 蔵
 - 11 お好み焼き 一丁目
 - 12 和風居酒屋 魚菜
 - 13 天ぶら 葵丸進
 - 15 三角
 - 16 鮒忠 花川戸店
 - 17 喫茶クラウン
 - 18 鉢の木
 - 34 手焼きせんべい 和泉屋本店
 - 35 手焼きせんべい 和泉屋観音通り店
 - 36 浅草きびだんご あづま
 - 37 諸国名産珍味 熊野屋
 - 38 おもちゃのサワダ
 - 39 婦人・子供服 東京モード
 - 40 組紐 桐生堂
 - 41 のれん べんがら
 - 42 手焼きせんべい 和泉屋仲見世店
 - 43 てぬぐい ふじ屋
 - 44 あげまんじゅう 浅草九重
 - 45 常盤堂雷おこし本舗
 - 46 刃物 かね惣
 - 47 舞扇 文扇堂雷門店
 - 48 舞扇 文扇堂仲見世店
 - 49 ミドリ屋
 - 50 毛皮・婦人服 三ツ福ハシモト
 - 51 よのや櫛舗
 - 52 よ兵衛
 - 53 バッグ マツモト
 - 55 ネオ薬局
 - 57 江戸金銀工芸もり銀
 - 58 コマチヘア
 - 73 村石電気工事



- ### 北部会員店
- 19 和風れすとらん若
 - 20 レストラン にいど・だもおれ
 - 21 料亭 都鳥
 - 22 すし処 清司
 - 59 祭礼用具 宮本卯之助商店本店

浅草富士浅間神社

待乳山聖天

山谷堀

山谷堀はかつての吉原への道筋の一つ。柳橋で猪牙船を仕立てたお大尽は、隅田川を上って今戸橋から山谷堀を抜けて吉原へ通った。現在、堀は埋め立てられたが、堀端の桜は当時の名残を残し、今日も桜の名所として知られている。

毎年7月1日の富士の山開きで有名な浅間神社(せんげんじんじゃ)は、地元の人から「お富士さん」の愛称で親しまれている。江戸時代に各地に広がった富士浅間神社の信仰だが、浅草富士浅間神社は静岡県富士市から元禄年間に分社したもの。本殿外観は平成9年から10年の改修工事によって漆喰塗りが施されているが、内部には明治11年に建築された土蔵造りが残されている。毎年5月最終土日と6月最終土日に植木市が開かれ、浅草の年中行事として賑わいを見せる。

待乳山聖天(まつちやましようてん)は、正しくは待乳山本龍院という。境内のいたるところに大根と巾着を組み合わせた比翼紋があるが、これは健康増進などを祈願する聖天信仰の現れとされる。毎年恒例の大根まつりには多くの信者が訪れる。昔は待乳山の手前に隅田川が流れ、東都随一を誇る眺望の名所として知られた。現在はその眺めは見られないが、江戸末期に作られた長さ25メートルに及ぶ築地塀などが往時をしのばせる。

浅草槐の会・会員店紹介



食べる

1 神谷バー (雷門通り) ビアホール、レストラン、割烹 地図 P.14-C1



明治13年創業、明治45年「神谷バー」と屋号を改めた日本で最初のバー。名物デンキブランとともに皆様にご愛顧頂いております。お一人様には1階が、グループのお客様には2階レストラン、3階割烹がお勧めです。

電 03-3841-5400
住 台東区浅草1-1-1
営 11:30~22:00
休 火曜日
<http://www.kamiya-bar.com/>



2 三定 雷門 (雷門通り) 天ぷら・和食 地図 P.14-C1



創業以来江戸前天ぷらの味を守り百六十余年。胡麻のきいた黒っぽい天ぷらですが、あと味が軽いのが身上です。店も仲見世の入口にあり、ご散策に大変便利。季節ごと変わる旬の天ぷらに江戸の粋を御堪能下さい。

電 03-3841-3200
住 台東区浅草1-2-2
営 11:30~21:30
休 無休
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/sansada.html>



3 こぼやし (浅草メトロ通り) お好み焼き・もんじゃ 地図 P.14-C2



当店が自信を持ってお勧めするオリジナル新商品「焼もんじゃ」。お好み焼き?もんじゃ?焼そば?独特な食感を是非お試し下さい。その他、ボリューム満点、豊富なメニューを取り揃えてお待ちしております。

電 03-3847-6733
住 台東区浅草1-34-4
営 平日11:30~23:00
土日祝11:30~22:00
休 無休
<http://www.monja.co.jp/>



4 浅草うまいもん あづま (新仲見世通り) 和食・寿司・甘味 地図 P.14-B2



なつかしい味の下町料理(和食、江戸前寿司、オムライス、自家製甘味...)を是非お楽しみ下さい。二階の掘りごたつ席での御宴会も大好評です。

電 03-3841-0190
住 台東区浅草1-32-1
営 平日11:00~21:00
土日祝10:30~21:00
休 無休
<http://www.asakusa-azuma.tokyo.walkerplus.com>



6 食処・茶処 かと里 (新仲見世通り) 食処・茶処 地図 P.14-C2



トレードマークのダイナミックな滝を眺めつつ2階へ上がると、和モダンな空間。みつ豆や白玉、おしるこ、パフェなど、種類豊富な甘味をご用意しております。浅草散策のひとつをお過ごしください。

電 03-3841-7400
住 台東区浅草1-1-11(2F)
営 11:00~18:00
休 木曜日
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/katori.html>



7 名代らーめん 与ろゐ屋 (伝法院通り) らーめん 地図 P.14-B2



醤油らーめん発祥の地、浅草昭和30年代に店主がここで毎日食べていた日本蕎麦屋のらーめんを再現しました。煮干・かつを節のかおり漂う昔ながらの和風らーめんを下町の風情と共に楽しみ下さい。

電 03-3845-4618
住 台東区浅草1-36-7
営 11:00~20:30
休 無休
<http://www.yoroiaya.jp>



8 浅草 鮨よしだ (馬道通り) 寿司 地図 P.14-C3



「こだわらないのにこだわりたい鮨づくり」日本の旬を浅草で…全国津々浦々の旨い魚にこだわり、江戸前の仕事(煮蛤、鮭のづけ等)にこだわり、そしてお店よりお客様にこだわって頂きたい楽しい鮨屋です。

電 03-3845-7557
住 台東区浅草2-1-14
営 11:30~14:00
17:00~24:00
休 日曜日
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/yoshida.html>



9 麻鳥 (公会堂横通り) 釜めし・串焼き 地図 P.14-B2



新潟県下田町より直送の100%コシヒカリを新鮮な素材と共に一釜づつ心を込めて炊き上げます。地鶏串焼も福島伊達鶏を紀州備長炭で丁寧に焼き上げます。大切な方々のおもてなしにどうぞごゆっくり御賞味下さい。

電 03-3844-8527
住 台東区浅草1-31-2
営 11:00~21:30
休 無休
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/asadori.html>



10 蔵 (公会堂横通り) 炭火焼会席 地図 P.14-B2



旬の素材を使ったお勧めの炭火焼会席コース、牛肉は和牛の特選焼物コース、アラカルトでは三陸産の鮑や伊勢海老などもございます。季節によって変わる焼魚も絶品です。焼物は全て炭火焼きで召し上がって頂きます。

電 03-3847-1129
住 台東区浅草1-30-10
営 11:30~22:30
休 無休
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/kura.html>



11 一丁目 (雷門柳小路) お好み焼き 地図 P.14-A1



新しい味の発見です!お好み焼きをわさび醤油・ポン酢・抹茶塩などでお召し上がり下さい。もちろんソースも自家製ですから食べ比べてみては? 当店の材料は全て純国産品です。

電 03-3845-7566
住 台東区浅草1-21-2
営 火水木12:00~15:00/17:00~22:30
金17:00~22:30
土日祝11:30~21:30
休 月曜日ただし祭日の場合は火曜日
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/icchome.html>



ASAKUSA



12 魚菜 (雷門柳小路)

和洋居酒屋風レストラン 地図 P.14-A1



魚菜ではテレビでも紹介された三陸産のアワビの肝ソース焼きが大人気です。一品およびコース料理もごさいます。大小のご予約を承っております。今話題の焼酎、黒糖・芋・麦・米も取り揃えております。



電 03-3842-1919
住 台東区浅草1-17-9
営 平日17:00~23:30
日祝日12:00~22:30
休 無休
http://www.asakusa.gr.jp/shop/uosai.html

13 葵丸進 (雷門通り)

天麩羅、季節料理、寿司 地図 P.14-A1



「旬の肴に天麩羅でちよいと一杯」季節料理に天井・天麩羅、お椅子席・お座敷席・個室席。お好みのスタイルでおつろぎください。浅草に行きつけの天麩羅屋はいかがですか。



電 03-3841-0110
住 台東区浅草1-4-4
営 11:00~20:00
休 第2・4月曜日
http://www.aoi-marushin.co.jp/

15 三角 (浅草中央通り)

ふぐ 地図 P.14-A1



明治35年(1902)の創業以来、日本料理店として気取らず下町の味を守りたいと努力しております。ふぐさし、ふぐちり、煮凍り、唐揚、ひれ酒、白子、特に11月頃からの白子焼、白子刺身は大人気の逸品です。是非一度ご賞味下さい。



電 03-3841-7650
住 台東区浅草1-20-7
営 11:30~22:00
13:00~22:00(L021:00)
休 水曜日、正月、お盆は不定休あり
http://www.asakusa-fugu.com/sankaku.htm

16 鮎忠 花川戸店 (馬道通り)

居酒屋 地図 P.14-C3



大衆焼き鳥の元祖は浅草。その焼き鳥を広めた元祖が鮎忠です。新鮮な焼き鳥はもちろん、鰻や昔ながらの一品料理も取り揃えています。大小宴会も随時予約承ります。口福のひとつを鮎忠でお過ごしください!



電 03-3841-6829
住 台東区花川戸1-6-4
営 平日16:00~23:00
土日/12:00~23:00
休 火曜日
http://www.asakusa.gr.jp/shop/funachu.html

17 喫茶クラウン (観音通り)

喫茶・軽食 地図 P.14-C1



浅草駅からすぐの昔ながらの喫茶店。真心こめて淹れたコーヒーを是非ご賞味ください。モーニングセットはトーストセットとホットケーキセットの2種類。甘くてフワフワのホットケーキは人気の一品です。



電 03-3841-7500
住 台東区浅草1-2-13
営 8:00~18:30
休 火曜日(祝日の場合は営業)
http://www.asakusa.gr.jp/shop/crown.html

18 鉢の木 (公会堂東通り)

甘味・喫茶 地図 P.14-C2



浅草寺に詣で、心躍る浅草の賑わいを巡る。熱気に煽られしばしの休息。あんみつ、おしろい、いそべ巻き…。甘味を口にホッとひと息。夏のかき氷も人気です。くつろぎの和の空間にお立ち寄りください。



電 03-3843-6755
住 台東区浅草1-34-7
営 11:30~18:00
休 水曜日
http://www.asakusa.gr.jp/shop/hachinoki.html

19 和風れすとらん若 (浅草猿若町町会事務所側)

洋食レストラン 地図 P.15



江戸の名残の和風作りのお店で、洋食と色々なお酒をお楽しみください。特製ヒレカツサンドと、のりカツロールはお子様からお年寄りまで喜んで頂けるお土産に大人気です。(不定休の為、必ずお電話で御予約下さい。)



電 03-3876-2500
住 台東区浅草6-20-2
営 17:00~21:00
休 不定休のため要予約
http://www.asakusa.gr.jp/shop/waka.html

20 にいど・だもおれ (浅草猿若町市村座跡)

レストラン 地図 P.15



昔の市村座の跡にあるお店です。夜は新鮮な魚介類のお料理で(活クラバガニ等)、お仲間だけの空間をお楽しみ下さい。



電 03-3874-7561
住 台東区浅草6-18-13
小竹猿若町レジデンス1階
営 ランチフリー-11:00~14:00
ディナー-1日1組予約のみ
休 日祝、第3土曜日
http://www.asakusa.gr.jp/shop/nidodamore.html

21 都鳥 (浅草観音裏)

料亭 地図 P.15



江戸開府四百年、だからこそ江戸の昔を体験してみませんか。花柳界の楽しさをもっと知って頂きたいと、江戸の遊びのコースを考えました。お客様には和服でお越し頂くなど、一緒に御趣向を楽しみませんか。



電 03-3874-2175
住 台東区浅草3-23-10
営 18:00~ 要予約
休 土日祝日
http://www.asakusa.gr.jp/shop/miyakodori.html

22 すし処 清司 (浅草観音裏)

寿司 地図 P.15



すしは日本の食文化。にぎる人の心がお客様に通ってこそ本物だと思います。特に江戸前の小肌、蛤、鰯は逸品です。鮭はもちろん本まぐろです。一味も二味も違うお寿司を是非ご賞味くださいませ。



電 03-3872-7275
住 台東区浅草3-22-12
営 月~土17:00~25:00
祝日18:00~24:00
休 日曜日
http://www.asakusa.gr.jp/shop/seiji.html

23 常寿司 (たぬき通り)

寿司 地図 P.16-C1



屋台の鮓屋が提供していた昔懐かしい鮓。その味を、今も変わらず作り続けています。肩肘を張らずに、お気軽に江戸前寿司を楽しみたい方、お奨め致します。是非お越し下さい。



電 03-3844-9955
住 台東区浅草1-15-7
営 11:30~21:00 休憩なし
休 月曜日
http://www.5b.biglobe.ne.jp/~sushi/

24 中清 (オレンジ通り)

天ぷら会席 地図 P.16-C2



数寄屋造りの離れ座敷で昔から変らぬ味の江戸前天麩羅をごゆっくりご賞味下さいませ。



電 03-3841-4015
住 台東区浅草1-39-13
営 平日11:30~14:00、17:00~22:00
土日祝11:30~20:00
休 火曜日、第2、第4月曜日
http://www.nakasei.biz/

25 浅草田南 草津亭 (観音裏言問通り)

料亭 地図 P.16・C3



正月の芝居茶屋から始まり、師走の「おせち料理」まで、移り行く江戸の四季を草津亭がご提案いたします。昼席は5千円から、また、名物の玉子焼や折詰弁当などもデバ地下でお気軽にお買い求めいただけます。

電 03-3841-8236
住 台東区浅草2-27-10
営 12:00~22:00
休 年末年始・夏期・月曜不定休



<http://www.kusatsutei.jp/>

26 TAKEYA (浅草ひさご通り)

居酒屋 地図 P.16・B3



昔からひさご通りは六区興行街から千束吉原に向かう人で賑わう商店街でした。当店はお客様からお年寄りまで、気楽に入れて来て良かったと思われるお店を、従業員一同心がけております。大小予約承ります。

電 03-3841-6555
住 台東区浅草2-25-5
営 平日17:00~23:00
土日12:00~14:30、
17:00~23:00
休 月曜日



<http://www.nakasei.biz/>

27 浅草今半 (国際通り)

すき焼、しゃぶしゃぶ、日本料理 地図 P.16・B2



厳選された黒毛和牛と秘伝の割り下で、焼くように煮るすき焼が浅草今半流。ランチタイムサービスの「明治すき焼丼」と「ステーキ丼」は、浅草の隠れ銘丼とも…。納得の味をお届けいたします。

電 03-3841-1114
住 台東区西浅草3-1-12
営 11:30~21:30
休 年中無休



<http://www.asakusaimahan.co.jp/>

28 どぜう飯田屋 (合羽橋本通り)

どぜう料理 地図 P.16・B2



磨き込まれた籐敷きに
胡坐をかいて
どぜう鍋
一刻文豪気分です

電 03-3843-0881
住 台東区西浅草3-3-2
営 11:30~21:30
休 水曜日、祝物日は前後
振替



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/iidaya.html>

29 中国小菜 龍圓 (国際通り)

中華料理 地図 P.16・B2



心を込めた手造り料理!食で幸福感の味わい、「浅草に来て良かった、また来たい」、これが、龍圓のモットーです。本格中国料理からデザートに至るまで、心を込めて、お出し致します。

電 03-3844-2581
住 台東区西浅草3-1-9
営 平日12:00~14:00、
17:00~21:00
日祝12:00~14:00、17:00~20:30
休 月曜日



<http://www.ryuen1993.com/>

30 月見草 (浅草並木通り)

シーフードレストラン 地図 P.17・C2



魚介類を中心とした旬の食材を取り入れたシーフードレストラン。一番の人気を誇るのは鮑のステーキ、水槽の中で生きているものをすぐに調理し丸ごと一つを鮑の肝で作った自慢のオリジナルソースをかけてどうぞ。

電 03-3841-8949
住 台東区雷門2-11-8
営 11:30~15:00
17:00~22:00
休 月曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/tsukimiso.html>

31 マノス

ロシア風レストラン 地図 P.17・B2



「ロール・キャベツ?いや!キャベツ・ロールです」。創業以来、作り続けて35年。元祖キャベツ・ロールといえば浅草マノス。料理は良い素材と美味しいものを作るという気持ち!今一度、おた召しあ~れ~!

電 03-3843-8286
住 台東区雷門2-17-4
営 11:30~22:30
休 火曜日



ただし平日15:00~16:30準備中
<http://www.5a.biglobe.ne.jp/~mns/index.html>

32 初小川 (雷門仲通り)

鰻蒲焼き 地図 P.17・B2



明治40年の創業以来継ぎ足し使っている辛口のタレを使った鰻は、注文を受けてからさばき、蒸してから焼く。江戸前風七輪の炭で焼いた鰻はムダな脂が落ち、身もふっくらやわらかで上品な味わいです。

電 03-3844-2723
住 台東区雷門2-8-4
営 平日12:00~14:00、17:00~
20:00 日祝17:00~20:00
休 不定休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/hatsugawa.html>

33 茶寮 一松 (万太郎横町)

会席料理 地図 P.17・B2



ご宴会に、季節の色で盛り付けされた茶寮一松での会席料理はいかがでしょう。お昼のミニ会席や料亭ウエディングプランなどもご用意しております。しばし浮世を離れ、浅草ならではの粋なひと時をお楽しみ下さい。

電 03-3841-0333
住 台東区雷門1-15-1
営 11:30~23:00
休 不定休



<http://www.ichimatsu.co.jp>

34 和泉屋本店 (観音通り)

あられ、手焼せんべい、おかき 地図 P.14・C1



良質の食材(もち米・うるち米・醤油・天然塩等)を使った、あられ、手焼せんべい、おかきを製造しています。缶・和紙箱・竹籠の御進物セットが人気です。

電 03-3841-5501
住 台東区浅草1-1-4
営 10:30~19:30
休 木曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/izumiya.html>

35 和泉屋観音通り店 (観音通り)

あられ、手焼せんべい、おかき 地図 P.14・C1



このところ、堅焼の人氣が復活しています。天日干しの「厚焼せんべい」。もち米の「風神雷神」。堅焼の定番げんこつ等、リピーターのお客様が増えています。

電 03-3841-8385
住 台東区浅草1-1-6
営 10:30~19:30
休 木曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/izumiya.html>

36 浅草きびだんご あづま (仲見世通り)

きびだんご 地図 P.14・B1



江戸時代、観音様の参道・仲見世で繁昌した門前のきびだんごを再現しております。粋なにいさんと下町娘たちのきびだんご作りの実演もご覧下さい。夏の冷し抹茶や冬の甘酒も大評判です。

電 03-3843-0190
住 台東区浅草1-18-1
営 09:00~19:00
休 無休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/kibidango.html>



37 熊野屋 (観音通り)

諸国名産珍味 地図 P.14 - C1



ちよつと昔、よく食べたあの口が曲がるくらい塩辛い紅サケの切身、お茶漬け、お酒にぴったりの塩干ダラ、本場新島の本乾クサヤの干物等々が下町浅草でお求めいただけます。本場大分産の肉厚シタケも好評です。

電 03-3841-8089
住 台東区浅草1-19-10
営 10:00~18:00
休 木曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/kumanoya.html>

38 おもちゃのサワダ (新仲見世通り)

玩具一般 地図 P.14 - C2



昔ながらのオモチャです。ビー玉・面子・ペーゴマから、今話題のオモチャまで、品数豊富に取り揃えております。お値段もお勉強させて頂いております。皆様の是非の御来店をお待ちしております。

電 03-3842-7367
住 台東区浅草1-33-3
営 09:30~19:00
休 水曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/omocha.html>

39 東京モード (新仲見世通り)

婦人・子供服 地図 P.14 - B2



婦人服・子供服から舞台衣装・ダンスウェアまで、最新デザインの商品をサイズ豊富に取り揃えております。お値段はサイズに優しい下町価格。普段のオシャレに、ダンスやカラオケの発表会に、ぜひご利用下さい!

電 03-3841-3915
住 台東区浅草1-32-3
営 10:30~19:30
日祝10:00~19:30
休 無休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/tokyomode.html>

40 桐生堂 (浅草メトロ通り)

組紐、和雑貨 地図 P.14 - B2



当店は、商品も手作りですが内装も手作り、材木を切ったりニスを塗ったり、気ままに楽しんでいます。竹を買って店の外側に取り付けました。下に風知草を置いて、なかなか良く出来たと思っています。

電 03-3847-2680
住 台東区浅草1-32-12
営 10:30~19:00
休 無休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/kiryudo.html>

41 べんがら (浅草メトロ通りと仲見世柳通りの角)

のれん 地図 P.14 - B2



専門店ならではの品揃えで、柄・サイズも豊富に約500種類。のれんは部屋の入口に掛ける以外にも、タペストリー、カーテン、間仕切りとしても使えます。きつとお部屋にぴったりの1枚が見つかります。

電 03-3841-6613
住 台東区浅草1-35-6
営 平日10:00~18:00
土日祝10:00~19:00
休 第3木曜日



<http://www.bengara.com>

42 和泉屋仲見世店 (仲見世通り)

あられ、手焼せんべい、おかき 地図 P.14 - B2



約100種類のあられ、手焼せんべい、おかきを販売しています。江戸情緒あふれるパッケージ(江戸童(わらべ)絵・日本人形・雷門)の手土産が人気です。

電 03-3844-2687
住 台東区浅草1-37-1
営 平日17:00~24:00
10:30~19:30
休 木曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/izumiya.html>

43 ふじ屋 (弁天山側)

てぬぐい 地図 P.14 - B3



四季の草花、歌舞伎、歳時記などのオリジナル染絵でぬぐいを額装したインテリアや、江戸時代より「そめぎれ染布」として暮らしの中で使われてきた江戸小紋などで、てぬぐいを生かした粋な暮らしをお楽しみ下さい。

電 03-3841-2283
住 台東区浅草2-2-15
営 10:00~18:00
休 木曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/fujiya.html>

44 浅草九重 (仲見世通り)

あげまんじゅう 地図 P.14 - B3



「浅草寺から三軒目」浅草九重はあげまんじゅうの実演販売のお店です。国産大豆を原材料とし、最高級のごま油を使用しています。日持ちのするお土産用のラインナップも充実し、国内はもちろんのこと、海外のお客様にも人気です。

電 03-3841-9386
住 台東区浅草2-3-1
営 09:30~19:00
休 無休



<http://www.agemanju.co.jp/>

45 常盤堂雷おこし本舗 (雷門通り)

雷おこしを主とする菓子 地図 P.14 - B1



今も変わらぬ下町ならではの粋や人情にふれあう事の出来る浅草において、下町の心・伝統の味を守り続ける常盤堂。江戸銘菓「雷おこし」家を「おこし」名を「起こす」という縁起の良さから長い間、浅草のお土産として親しまれております。

電 03-3841-5656
住 台東区浅草1-3-2
営 09:00~21:00
休 無休



<http://www.tokiwado.com/>

46 かね窓 (雷門柳小路)

刃物 地図 P.14 - B1



プロ仕様から家庭用まで各種取り揃えております。創業(明治6年)以来、伝承されてきた古式鍛錬秘法の切れ味を一度お試し下さい。また、ご婚礼祝い、仏事のお返しなどにもご利用ください。

電 03-3844-1379
住 台東区浅草1-18-12
営 10:30~19:00
休 不定休



<http://www.kanesoh.com>

47 文扇堂雷門店 (雷門柳小路)

舞扇、うちわ等 地図 P.14 - B1



扇専門店として当代で四代。各流派の舞踊家、歌舞伎の役者さん、芸者さんや落語家さんなど多種多彩な方にお話し頂いています。普通の扇や木版刷りの祝儀袋、うちわもあるお店です。気楽にお立ち寄りください。

電 03-3841-0088
住 台東区浅草1-20-2
営 10:30~18:00
休 毎月20日過ぎの月曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/bunsendo.html>

48 文扇堂仲見世店 (仲見世通り)

舞扇、うちわ等 地図 P.14 - B2



雷門店同様に、古典芸能のプロの方をはじめ多くのお客様に御愛顧頂いております。普通の扇や木版刷りの祝儀袋、うちわなども御用意しておりますので気楽にお立ち寄りください。

電 03-3844-9711
住 台東区浅草1-30-1
営 10:30~18:00
休 毎月20日過ぎの月曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/bunsendo.html>



49 ミドリ屋 (公会堂横通り)

舞踊衣装 地図 P.14 - B2



舞踊衣装のことなら当店にお任せ下さい。豊富な品揃えと驚きの低価格で、きっとご希望の品が見つかります。その他、お稽古着・反物も多数取り揃えておりますので、是非一度お立ち寄り下さい。

電 03-3843-1441
住 台東区浅草1-30-11、浅草1-31-4
営 10:30~18:00
休 毎月第2・4火曜日
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/midoriya.html>



50 ミツ福ハシモト (新仲見世通り)

毛皮、革、婦人服 地図 P.14 - A2



当社は、大正3年毛皮専門店として浅草千束で創業。昭和20年に現在地に移転し、毛皮を中心に皮革製品、夏は麻・綿素材、冬はシルク・ウール・カシミア等の天然素材を活かした婦人既製品を扱っています。

電 03-3844-3441
住 台東区浅草1-30-6
営 10:30~19:30
休 不定休
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/hashimoto.html>



51 よのや櫛舗 (伝法院通り)

黄楊櫛、黄楊製品 地図 P.14 - A2



伝法院通りにあり浅草寺、六区方面から大変に便利です。小店舗ですがつけ櫛の種類も豊富で、また櫛やかんざしの使い方も丁寧にアドバイスさせて頂いております。是非一度御来店下さい。

電 03-3844-1755
住 台東区浅草1-37-10
営 10:30~18:00
休 無休
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/yonoya.html>



52 よ兵衛 (仲見世通り裏)

揚餅・お団子 地図 P.14 - B3



サクッと軽くお味はしっかり。昔懐かしい母の味「揚餅」を食べていただくため、無駄なものは一切加えず、素朴で香ばしい味を再現しています。お味は生醤油やしお、カレー、生醤油唐辛子など6種類。是非ご賞味あれ!

電 03-3841-0868
住 台東区浅草2-2-7
営 9:00~18:00
休 不定休
<http://www.agemochi-yohei.com/>



53 マツモト (新仲見世通り)

カバン・バッグ・サイフ 地図 P.14 - A1



江戸の心意気を感じてもらおうと、半纏リュックを創りました。お手持ちの布地からのお仕立てを中心にしています。あなただけの世界で一つのオリジナルリュックを作ってみませんか?お仕立て代1万円。

電 03-3842-2961
住 台東区浅草1-21-8
営 10:00~20:00
休 無休
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/matsumoto.html>



55 ネオ薬局 (馬道通り)

クスリ 地図 P.14 - C3



一般薬、保険調剤、健康食品、ヒノキ肌粧品、NOV、WELLA、4711Portugalなどを扱っております。お店にない商品はお取り寄せも可能です。ぜひ、お気軽にご相談下さいませ。

電 03-3841-5329
住 台東区浅草2-1-15
営 9:30~19:30
土 9:00~18:00
休 日曜祝日
<http://www.neo-ph.com>



56 浅草辻屋本店 (新仲見世通り)

和装履物 地図 P.16 - C1



浅草花柳界をはじめ、和装にうるさいお客様に愛され育てられて百年目。長く履いても痛くならず疲れない、熟達した職人の技が生きる鼻緒のすげ。「浅草好み」の履物を豊富な品数で取り揃えております。

電 03-3844-1321
住 台東区浅草1-28-1
営 10:00~19:00
休 無休
<http://www.getaya.jp/>



57 江戸金銀工芸もり銀 (オレンジ通り)

銀製品全般 地図 P.14 - A2



日本の金銀工芸は西暦600年代より始まり、江戸時代に入って花開きました。現在もその時代からの手法を引き継いで、銀の食器類・アクセサリ・etcを自家製作販売しております。日本の伝統文化を表す品々と自負しております。

電 03-3844-8821
住 台東区浅草1-29-6
営 10:30~18:30
休 無休
<http://www.moriginki.co.jp>



58 コマチヘア (第一店・新仲見世通り、第二・三店・仲見世通り) かつら・頭飾品 地図 P.14 - B2, P.14 - B3, P.16 - C1



大正14年創業以来、職人気質の「かつら」づくりに徹しています。日本髪から男女洋かつら、ヘアピース、余興かつら、かんざしまで、豊富に取り揃えております。舞台化粧品も、お気軽にご相談ください。

電 03-3841-8191 (第一店)、5523 (第二店) 7434 (第三店)
住 台東区浅草1-28-3 (第一店)、1-31-1 (第二店) 2-3-1 (第三店)
営 10:30~19:00 (第一店)、09:30~19:00 (第二店) 09:30~18:00 (第三店)
休 無休
<http://www.komachi-hair.co.jp/>

59 宮本卯之助商店本店 (吉野通り)

太鼓・神輿、祭礼用具 地図 P.15



文久元年(1861年)創業、伝統的な製法を頑なに守り続け、その華麗さ、堅牢さには定評があります。また、邦楽教室を行う「宮本スタジオ」や世界の太鼓資料館「太鼓館」など、様々な活動にも取り組んでいます。

電 03-3873-4155
住 台東区浅草6-1-15
営 09:00~17:00
休 土日祝日
<http://www.miyamoto-unosuke.co.jp>



60 デイジー (新仲見世通り)

バッグ、小物 地図 P.16 - C1



魅力的な貴女をより輝かせるバックと小物。デイジーはそんな貴女にピッタリ!カラフルな品揃えで心までウキウキ間違いナシです。オリジナル品を中心としたオサイフや札入も個性的な貴女にピッタリ!特注・別注・修理も大歓迎です。

電 03-3847-8118 (FAX共通)
住 台東区浅草1-22-10
営 10:00~19:30
休 不定休 2ヶ月に1回ほど
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/deiji.html>



61 渡辺眼鏡商店 (ためぎ通り)

めがね 地図 P.16 - C1



創業明治20年の眼鏡専門店です。オリジナルフレーム、アンティークフレーム、眼鏡ケース、眼鏡チェーンなど他所には無いものをお探しの方はちょっと覗いてみて下さい。眼鏡修理も承っております。

電 03-3841-7466
住 台東区浅草1-16-7
営 09:30~19:00
休 第1・3火曜日
<http://www.watanabemegane.com>



62 すずや (西参道商店街)

演劇、舞踊小道具 地図 P.16 - C2



時代劇や踊りに興味のある方、いろいろな小道具が並んでいます。近くにお出かけの時にはお気軽にお立ち寄り下さい。

電 03-3844-3798
住 台東区浅草2-7-13
営 10:00~18:00
休 火曜日



<http://www.asakusasuzuya.co.jp/>

63 めうがや (言問通り)

足袋、祭用品 地図 P.16 - C3



“めうがや”と書いて「みょうがや」。旧仮名で“どぜう”を「どじょう」と読むのと同じです。夏に麻足袋、柄足袋も多種揃っています。お祭には、オリジナルの祭用品で粋にキメて下さい。

電 03-3841-6440
住 台東区浅草2-27-12
営 10:00~19:00
休 水曜日



<http://www.kodasho.co.jp/>

64 宮本卯之助商店西浅草店 (国際通り)

太鼓・神輿、祭礼用具 地図 P.16 - B1



文久元年(1861年)創業、伝統的な製法を頑なに守り続け、その華麗さ、堅牢さには定評があります。また、邦楽教室を行う「宮本スタジオ」や世界の太鼓資料館「太鼓館」など、様々な活動にも取り組んでいます。

電 03-3844-2141
住 台東区西浅草2-1-1
営 9:00~18:00
休 年中無休



<http://www.miyamoto-unosuke.co.jp/>

65 ヤマダの家具 (合羽橋通り)

家具・内装工事・リフォーム 地図 P.16 - A2



飲食店のイス・テーブルの製造販売と内装工事を承っております。最近ではイスの張替、リフォーム工事等、大変好評です。お見積りはもちろん無料ですので、大小にかかわらずどうぞご相談ください。

電 03-3843-6656
住 台東区松が谷3-2-12
営 9:00~17:30
休 日曜・祝日



<http://www.yamada-no-kagu.jp/index.html>

66 今昔きもの 龍巳(胡蝶) (オレンジ通り・伝法院通り角)

着物 地図 P.16 - C2



胡蝶では、大正・昭和のアンティーク着物から、最近のリサイクル着物・帯などを格安にて販売しております。また、本店・龍巳にて、日本舞踊の貸衣装・かつらのレンタルも承ります。

電 03-3843-7606
住 台東区浅草1-39-11
営 10:30~19:00
休 無休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/kocho.html>

67 龍昇亭西むら (雷門通り)

和菓子 地図 P.17 - C2



看板の栗むし羊かんはもちろん、大桃山金龍、東京かすていら、昇り鮎など浅草の催事と、季節に因んだ品々は大人気です。創業は江戸中期と古く、安藤広重の「雷門前図」にもお店が描かれています。

電 03-3841-0665
住 台東区雷門2-18-11
営 09:00~20:00
休 不定休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/nishimura.html>

68 花鈴 (雷門仲通り)

生花店 地図 P.17 - B2



浅草の催事に合わせた商品を販売しています。また、お持ちのパソコンからお花の注文が出来ます。(http://www.fsonline.jp) 御注文の際にはプレミアムコード(KBA08900)を是非入力して下さい。

電 03-3845-1187
住 台東区雷門2-8-4
営 09:00~20:00
日祝09:00~18:00
休 無休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/hanasuzu.html>

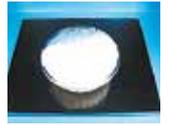
69 市川とうふ店 (万太郎横町)

豆腐 地図 P.17 - B2



浅草の老舗飲食店への卸を中心に、国産大豆にこだわり手作り豆腐一筋三代にわたるお店です。店頭での販売ではなくに“おぼろ豆腐”が人気です。水にまったりさらさらしない、大豆風味豊かな味を一度御賞味下さい。

電 03-3841-1357
住 台東区雷門1-14-3
営 5:00~18:00
13:00~16:00は休憩
休 水曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/tofu.html>

70 宗舟 (浅草消防署手前右入る)

木彫刻 地図 P.17 - B2



初代より百年以上にわたり社寺、仏像、置物などの木彫刻を専門に手掛けてきました。一階はギャラリーで、大黒様や聖観音菩薩など仏彫刻、根付け、小盆なども展示しております。お気軽にお立ち寄り下さい。

電 03-3845-0458
住 台東区寿4-12-2
営 10:00~17:00
休 日曜日・祝日



<http://so-syu.jp>

71 宝研堂 (江戸通り駒形どぜう裏)

書道用品専門店 地図 P.17 - B2



ご愛用の硯を研ぎ直し目立てをします。面を整地し直し厳選された砥石をかけ、仕上げに丸一日かけます。これを行うのと行わないのでは、使用感、見た目にも驚くほどの違いが出ます。是非一度お試し下さい。

電 03-3844-2976
住 台東区寿4-1-11
営 平日9:00~18:00
第1・3日曜10:00~17:00
休 第2・4・5日曜、祝日



<http://www33.ocn.ne.jp/~houkendou/>

72 グリーンジャケット

こだわりのゴルフ用品 地図 P.17 - B1



梅雨時のゴルフの必需品!夏場や雨のゴルフでグリップが滑りませんか?ゴリラゴールドが滑りを全て解決します。(全国販売店募集中)他所で見られないゴルフグッズをいろいろ揃えています。

電 03-3847-0871
住 台東区寿3-12-5
ロワール浅草202号
営 10:00~19:00
休 日曜日・祝日



<http://www.green-jacket.co.jp/>



73 村石電気工事 (仲見世会館そば)

電気工事業 地図 P.14 - B2



右の写真は当社が電気工事をした、汐留シティーセンタービル41階のFISHBANK(フランス料理店)です。このような工事を手がけ、また特殊ランプ等も販売しています。是非一度お立ち寄り下さい。

電 03-3845-2345
住 台東区浅草1-32-9
営 08:00~17:00
休 日曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/muraishi.html>

74 有限会社さとう

厨房用品・店舗設計・施工・リフォーム 地図 P.16 - A1



店舗・リフォームのことなら全てお任せください。特にメンテナンスにおいては、より早く修理にうかがうことを心がけております。お店・お住まいの事で疑問があったら、どんなささいな事でもご相談ください。納得のいく対応をさせていただきます。

電 03-3845-4751
住 台東区寿1-17-6



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/sato.html>

75 ホテルサンルート浅草 (田原町駅前・国際通り沿い)

ホテル業 地図 P.17 - A2



田原町駅から徒歩1分特に出張のお客様には、気取らず、それでいて質の高いサポートを第一に考えております。また、お食事とお飲み物は24時間“jonathan's”が提供致します。装い新たになったお部屋を是非お試しください。

電 03-3847-1511
住 台東区雷門1-8-5
営 24時間営業
休 無休



<http://www.sunroute-asakusa.co.jp/>

浅草文化観光センター



台東区浅草文化観光センターは、浅草寺を中心とする浅草の文化的遺産の保護・再発見に努めるとともに、広く全国に紹介するための施設。浅草の持つ特有の庶民文化や行事等の故事来歴などを紹介している。2012年4月20日(金)にリニューアルオープンしました。開館時間午前9:00~午後8:00。(年中無休)

台東区観光ボランティアガイド

台東区では、観光にいられた方の案内役として「観光ボランティアガイド」制度を設けています。利用できる人数は、2~3名の小グループから団体まで幅広く、「浅草寺を中心とした思わぬ発見コース」など、さまざまなご相談に応じてコースを設定してご案内しています。台東区観光ボランティアガイドに関する詳しいお問い合わせ、お申し込みは次のところまで。

台東区観光ボランティアガイド事務局

☐ TEL&FAX 03-3842-5599 ☐ ホームページ <http://www.tctv.ne.jp/kankou/>

槐の会からのお知らせ

浅草槐の会(あさくさえんじゅのかい)は、浅草寺のご本尊の聖観世音菩薩が、推古天皇36年(628年)3月18日、隅田川で示現され、槐の木(現在の駒形堂あたり)に安置されたといわれから“浅草槐の会”と称しました。浅草槐の会では、楽しい浅草情報を、ホームページ、瓦版、などで紹介いたしております。また、四季折々の浅草を自由に、楽しく散策していただきたく、地図、歳時、名所、旧跡を中心に編さんした『日本の扉浅草』を刊行いたしております。この冊子が、皆様の浅草散策のお役に立てば幸いです。



えんじゅ
浅草槐の會事務局

※この冊子は、槐の会会員店舗にて無料配付しております。

